

第3回FDフォーラム 「私の授業作り」 大学教育研究センター FD実施支援対策検討部会が開催

大学教育研究センター・FD実施支援対策検討部会が主催するFDフォーラムは今回が3回目となり、本学が実施するFD(Faculty Development)活動の一つとして定着してきた感がある。これまで2回のメインテーマ「私の授業作り」に引き続き、9月26日開催の第3回FDフォーラムでは「無気力・無意欲・学習効果の上がない学生にどのように接しているか、接しようと試みているか」という問題を共通テーマとして取り上げて、平田豊講師(電子工学科)、寺澤朝子講師(経営情報学科)、後藤英雄助教授(電気工学科)の順にそれぞれ日頃の取り組みを披露していただいた。参加者は、飯吉学長をはじめ岩田、山下両副学長他74人を数え、盛況のうちに終了することができた。

ところで、FDフォーラム「私の授業作り」開催の目的は、三浦真琴大学教育研究センター副センター長が既に『三浦学園報』第340号で述べられている通り、「密室状態にある大学の授業・教室を開放し、授業改善のためのアイデア・意見交換を教員間で積極



FDフォーラムの3人の講師

的に行う」ことにある。今回の3人の発表者はいずれも若手の教育・研究者であり、前述の趣旨を踏まえて、最新のマルチメディアを活用した授業展開や発表者個人の授業にとどまらず所属学部教員に対するアンケート調査結果、さらには暗記に頼らず考えることの大切さを理解させる方法など示唆に富む事例報告が行われた。ややもすると教員自身の授業公開(たとえ事例報告であれ)が当該教員への授業批判やあら探しに繋がりはしないかとの危惧を抱いていたのは筆者一人ではなかったと思うが、これまで3回のFDフォーラム「私の授業作り」を振り返って、これが学部・学科の枠を越えた教育上の共通の問題点や悩みについて実質的な情報・意見交換の場となりつつある点はこの試みの大きな成果の一つではないかと感じている。

終わりに、毎回参加者からは極めて熱心な提言や要望を多数頂いている。これらは順次FDフォーラムニュースで取り上げるとともに、FD実施支援対策検討部会の活動展開に有効に活用していきたいと考えている。

(FD実施支援対策検討部会員

大学助教授・機械工学科 水谷秀行)